

2023. 10. 27

東京証券取引所の「カーボン・クレジット市場」に参加

しずおかフィナンシャルグループ(社長 柴田 久)では、第1次中期経営計画「Xover～新時代を拓く」において、2030年にめざす姿を「すべてのステークホルダーがサステナブルかつ幸福度が高まっている状態」と定め、地域やお客さまの課題解決を通じた新たな社会価値の創造と企業価値の向上に取り組んでいます。また、取り組みの効果の度合いを計る指標として「サステナビリティ指標」を導入し、その1つに「静岡県内の温室効果ガス排出量削減率」を掲げ、グループ一体となって地域の脱炭素化の実現に向けたさまざまな活動を展開しています。

このたび、本活動のさらなる促進をめざし、脱炭素化に向けて政府が推進する「グリーントランスフォーメーション(GX)政策」の一環として東京証券取引所が開設した「カーボン・クレジット市場」に静岡銀行ならびに静銀リースが参加することとなりましたので、その概要をご案内します。

※2022年度に経済産業省から受託、実施した「カーボン・クレジット市場の技術的実証等事業」から得た知見と市場運営の経験を活かし、本年10月にカーボン・クレジット市場を開設

<静岡銀行について>

1. 市場への参加 12月中を予定
2. 静岡銀行の取り組みについて
 - 静岡銀行では、本年10月より、CO₂排出量算定クラウドサービス「しずおかGXサポート」の取り扱いを開始し、地域のお客さまのCO₂排出量の見える化に取り組んでいます。
 - あわせて、排出量の「見える化」の先にある「削減」に向けて、J-クレジットを活用した新たな金融サービスや、J-クレジットを付帯したプロダクトやサービスを地域のお客さまと共同開発していくことをめざしています。
 - こうした活動の一環として、今般、J-クレジットに関する情報収集や市場の流通動向を把握するため、カーボン・クレジット市場に参加することを決定しました。今後は、本市場への参加を通じて、しずおかフィナンシャルグループ各社や地域のお客さまと連携しながら、地域の脱炭素化の推進に力を注いでまいります。

<静銀リースについて>

1. 市場への参加日 10月11日(水)
2. 静銀リースの取り組みについて
 - 静銀リースでは、2022年度に東京証券取引所が経済産業省から受託、実施した「カーボン・クレジット市場の技術的実証等事業」に参加し、カーボン・クレジットの知見を広げるとともに、地域の脱炭素化につながる各種サービスの導入などを検討してきました。
 - あわせて、昨年12月には、静銀リースの営業車両の走行距離(2021年)に基づき発生したCO₂排出分(33トン/年)について、カーボン・クレジット市場実証事業を通じて購入したJ-クレジットにより、カーボン・オフセットを実施したほか、本年6月より、J-クレジットを活用した「カーボン・オフセットオートリース」を提供しています。
 - なお、本市場開設時の参加者188者のうち、地銀系リース会社では、静銀リースが唯一の参加者となります。

<ご参考> しずおかフィナンシャルグループにおける脱炭素化に向けたおもな取り組み

- ・TCFD提言に賛同表明(2020年3月)
- ・グループ環境方針の改定および特定セクターに対する投融資方針を制定(2021年4月)
- ・サステナブルファイナンス目標の設定(2021年10月)
- ・GXリーグ基本構想に賛同表明(2022年11月)
- ・浜松市と「カーボンニュートラルに関する連携協定」を締結(2023年7月)
- ・湖西市と「カーボンニュートラル推進に向けた相互協力及び連携に関する協定」を締結(2023年8月)
- ・御殿場市と「富士山東麓エコガーデンシティ地域循環共生圏の推進に関する連携協定書」を締結(2023年9月)